

# 平成14年度全国高校総合体育大会第55回全国高等学校バスケットボール選手権大会

平成14年 8月2日 (金)

会場 日立商業高等学校体育館

【男子の部】 第1日目 Fコート 第2試合

チームA 県立佐賀北 佐賀	60	{ 13 1Q 12 16 2Q 26 10 3Q 29 21 4Q 14 OT	81	チームB 県立八幡工業 滋賀
---------------------	----	---	----	----------------------

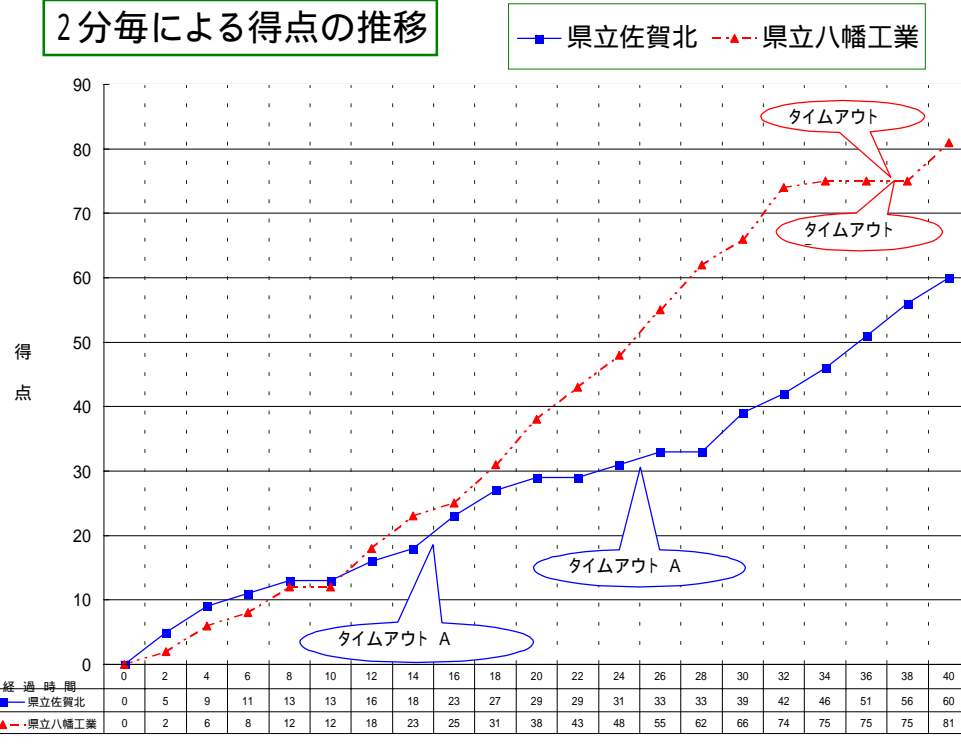
県立佐賀北

番号	氏名	得点	3P		2P		1P		反則	リバウンド		ターンオーバー	スチール	アシスト	ブロックショット	出場時間 単位:分
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	江島 正洋	13	0	0	6	8	1	2	2	2	5	3	0	0	3	36
5	原口 国之	5	1	2	1	1	0	0	2	0	1	1	0	0	1	20
6	笠原 嘉太	8	0	0	3	12	2	3	1	1	4	2	0	0	1	24
7	徳永 秀行	9	1	7	2	9	2	2	2	1	1	2	0	1	0	29
8	半田 聖広	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
9	小瀬 弘嗣	1	0	0	0	4	1	2	3	6	2	1	0	0	0	18
10	大野 正晶	9	1	7	2	13	2	4	0	3	4	1	2	2	0	23
11	小林 祐大	2	0	1	1	2	0	0	0	0	0	1	1	1	0	8
12	植松 和哉	4	0	1	2	5	0	0	1	0	3	2	2	1	0	18
13	白男川雄之	5	0	1	2	3	1	2	1	0	1	0	1	0	1	8
14	渡瀬浩太郎	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2
15	北原 武	2	0	1	0	4	2	2	1	0	2	0	0	0	0	12
コーチ	北島 寿人								0							
		60	3	20	20	61	11	17	14	13	23	14	6	5	6	200
		確率	15.0%	32.8%	64.7%				計	36						

県立八幡工業

番号	氏名	得点	3P		2P		1P		反則	リバウンド		ターンオーバー	スチール	アシスト	ブロックショット	出場時間 単位:分
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	寺田 亮	24	5	13	4	15	1	1	2	5	8	1	1	2	0	38
5	西堀 亮	12	0	0	5	13	2	2	4	0	4	5	3	3	0	32
6	塩谷 和弘	19	0	1	9	19	1	2	2	6	8	2	2	0	2	38
7	馬場 孝行	10	0	0	5	13	0	0	1	2	2	0	1	0	3	29
8	山下 憲男	5	1	3	1	5	0	0	1	0	1	2	0	1	0	16
9	川原崎良明	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
10	水 敬輔	9	0	1	4	8	1	1	3	0	1	1	0	2	2	31
11	森本 高裕	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	6
12	塚本 恭士	2	0	0	1	4	0	0	3	2	1	1	0	1	1	8
13	渡邊 博	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
14	竹内 幹雄															DNP
15	清水 大輔															DNP
コーチ	奥村 浩								0							
		81	6	21	29	78	5	6	17	15	25	13	8	9	8	200
		確率	28.6%	37.2%	83.3%				計	40						

## 2分毎による得点の推移



## 戦評

両チーム、ハーフコートマンツーマンでスタート。両チーム硬さからかミスが目立ち、めまぐるしく交代をしながらリズムをつかもうとする。一進一退を繰り返し、決め手のないまま13 - 12と佐賀北がリードして終了する。

第2P、八幡工オールコートマンツーマンにし、プレッシャーが厳しくなり逆転。5分佐賀北タイムアウトをとり、落ち着きを取り戻し同点に追いつく。8分、佐賀北のミスに乘着八幡工は速攻を繰り返し、#4寺田の3Pなどで一気に突き放し、29 - 38と9点差をつけて折り返す。

後半開始、八幡工#7馬場の速攻で先制した後、着実に点を重ねる。一方佐賀北は4分近く点が取れない。八幡工#4寺田の3Pに佐賀北タイムアウト。しかし、八幡工のリズムは崩れず、39 - 66で第3P終了。

第4P、疲れが出始めた八幡工は、ファールとミスが目立つようになり、佐賀北の速攻が決まり始める。しかし、30点の差を詰めることはできず試合終了。八幡工の粘り強いディフェンスの、佐賀北は攻撃のパターンを摘み取られ、精度の低いシュートを打たされたのに対し、速攻など持ち味を充分に出すことができた八幡工が81 - 60で勝利した。

主審 清水 裕士

副審 金田 胤実

記入者 岩村 直人